

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「スノーホワイトは砕けない」

テーマ:「白雪姫なのにバトルマニアな美少女」

キャラクター

60

ストーリー

35

テーマ(設定)

65

文章力

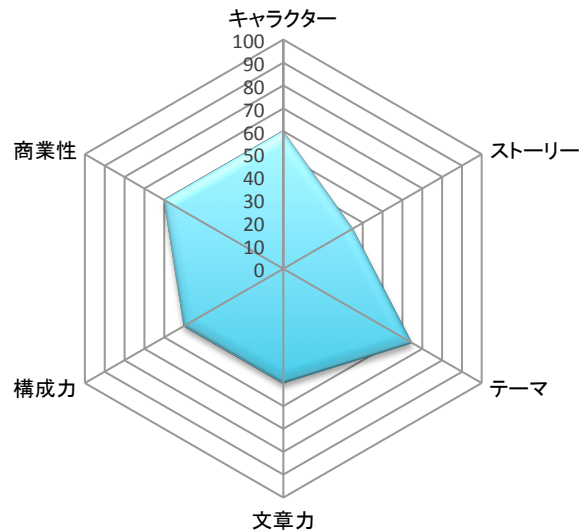
50

構成力

50

商業性

60



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・スノーホワイト&セブン・ドwarvesという何故かものすこいかつよく聞かえるおとぎ話バトルものという設定の時点で絶対に面白いことは分かったため、とても安心して読めた。恐らく突っ込んではいけな点なのかもしれないが敢えて突っ込むと、もう少し戦闘シーン以外のやり取りなどを出して起承転結のあるストーリーを描いて欲しかったという点。
 ・ただ恐らくその点は自覚の上で、テーマとキャラクターの強烈さを活かしたバトルを描いてやろう、ストーリーなんてどうでもいい大切なのは勢いだ的な雰囲気伝わってきたので、そういう意味では一切の文句なし。
 ・どうせバトルで攻めるのであれば、もう少しはちゃけた設定があってもよかったのではないか。硝子が砂から作られるといった設定は確かに面白かったが、この勢いを大切に短編内ではそのような緻密な設定ではなく、いっそかぼちゃの馬車で「ヒャッハァァァ」的なシンデレラのかけ声と共にドワーフ達をひき殺して行くくらいの大胆設定が必要とされていた気がする。

合計加点ポイント 0

総得点: 320 / 600

B方式総合得点: 17067 点